

○目指す子ども像(共通) 主体的に学び、互いに思いやり、認め合い、助け合う児童生徒  
重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う。 (2) 自己有用感や自己肯定感を獲得させることにより自尊感情を高める。  
○洛西中学校めざす生徒像 1. 主体的に学び・行動できる生徒 2. 何事にも一生懸命に頑張る、粘り強い生徒 3. 思いやり、認め合い、助け合う生徒

※単位は%

質問項目	
確かな学力	① 学習したことを理解し、基礎的・基本的な学力を身に付いていると思いますか。
	② 自分の意見や考えを進んで伝えることができますか。
	③ 人の意見や考えをしっかりと聞くことができますか。
	④ 自分の意見や考えをわかりやすく書くことができますか。
	⑤ すすんで読書をしていますか。
	⑥ 忘れ物をせずに、学習の準備をすることができますか。
	⑦ 毎日時間を決めて、家庭学習をしていますか。
	⑧ 先生の授業は、わかりやすいですか。
	⑨ 先生は、授業や学校生活の中で、自分のがんばったことを認めてくれていますか。
豊かな心・健やかな体	⑩ 学校に楽しく通うことができますか。
	⑪ 学校で、先生や友達から大切にされていると思いますか。
	⑫ 地域の人や先生、友だち等に、きちんとあいさつができていますか。
	⑬ 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が送れていますか。
	⑭ 自分に良いところがあると思いますか。
	⑮ 学校のきまりや地域でのマナーを守ることができると思いますか。
学校・家庭・地域の連携	⑯ 学校の取組を通じて、豊かな心をはぐくめていると思いますか。
	⑰ 学校・学年・学級だよりや、学校のお知らせプリントなど、お家の人に見せていますか。
	⑱ 先生にわからないことや悩みごとを相談していますか。
	⑲ お家の人に、学校のできごとについて話をしていますか。
	⑳ 行事や参観、懇談会等に家の人が来てくれることを楽しみにしていますか。
	㉑ お家の人や先生から、ほめられることがありますか。
	㉒ 地域の方との交流や地域・PTAの行事を、楽しみにしていますか。

生徒	
1	21 61
2	15 47
3	36 54
4	18 51
5	29 26
6	31 50
7	8 31
8	23 60
9	24 50
10	38 43
11	27 57
12	38 47
13	23 41
14	21 43
15	29 60
16	22 54
17	37 43
18	14 35
19	30 38
20	10 26
21	26 43
22	11 34

そう思う 大体そう思う あまり 思わな

保護者・学校運営協議会	
1	15 66
2	15 61
3	15 71
4	11 54
5	18 25
6	20 59
7	14 39
8	11 72
9	13 76
10	31 61
11	26 69
12	22 63
13	15 53
14	9 63
15	19 75
16	14 74
17	22 70
18	25 59
19	30 53
20	12 51
21	12 70
22	12 70

そう思う 大体そう思う あまり 思わない 空白

	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白	
	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	21	15	61	66	15	18	3	1	0	0
②	15	15	47	61	31	23	7	1	0	0
③	36	15	54	71	8	13	1	1	0	0
④	18	11	51	54	26	33	5	2	0	0
⑤	29	18	26	25	25	40	20	17	0	0
⑥	31	20	50	59	15	15	3	6	0	0
⑦	8	14	31	39	40	36	21	10	0	1
⑧	23	11	60	72	14	14	4	3	0	1
⑨	24	13	50	76	21	10	5	1	0	0
⑩	38	31	43	61	13	8	5	0	0	0
⑪	27	26	57	69	15	4	2	1	0	0
⑫	38	22	47	63	13	15	3	1	0	0
⑬	23	15	41	53	25	30	11	3	0	0
⑭	21	9	43	63	25	26	10	1	0	1
⑮	29	19	60	75	8	6	3	0	0	0
⑯	22	14	54	74	16	12	8	0	0	0
⑰	37	22	43	70	13	8	6	0	0	0
⑱	14	25	35	59	33	14	17	2	0	0
⑲	30	30	38	53	21	16	10	2	0	0
⑳	10	12	26	51	31	28	32	9	0	1
㉑	26	12	43	70	25	16	6	2	0	0
㉒	11	12	34	70	30	16	24	2	0	0

「確かな学力」 (アンケート番号①～⑨)

5月と10月に実施された学習確認プログラムの結果を比較すると、3年生が全体で2P上昇した。5教科とも平均してアップしているが国語、数学、理科が伸びてきている。とは言え、平均より下回る状況は変わっていないため、進路に向けての一層の取り組みが望まれる。1年生、2年生はともに、平均より2～3ポイント程下回っているが、中には平均を上回る教科も出てきている。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

アンケートの結果についておおむね良好で前期の調査時とほぼ同様の数値となった。⑧や⑨の授業に関する問いには、前回と同様良好であると思われる。しかし、基礎的、基本的な事項の理解が不十分であったり、繰り返しの練習が依然として不足している点がみられる。基礎基本の繰り返しによる定着と共に他者との関わりの中で、より深い学びに向かう授業に取り組んでいく必要性を感じる。

② 表現力の向上

アンケート②④の項目で自分の意見や考えを「伝える」「書く」ことについては、前回とほぼ同様の数値であり、生徒・大人ともに課題があると捉えている。じっくりと一人で考え、その上に立って仲間とのつながりの中で、自らの考えを深め、しっかりと定着させる場面を、積極的に作る必要がある。

③ 家庭学習の習慣化

アンケート⑦「毎日時間を決めて家庭学習をしていますか」の問いは伸び悩んでいる。テレビ・ゲームやスマホ・携帯電話に費やす時間が多く、家庭学習の時間に影響を与えていることに変化がないと考えられる。

「豊かな心・健やかな体」 (アンケート番号⑩～⑱)

アンケートの結果より、概ね肯定的な意見であるが、項目毎に見ると、課題が見られる。

① 豊かな心の育成

アンケート④が前回と同様に低い結果となった。仲間との繋がりの中で自己有用感を育て、自尊感情を高めていく必要性を強く感じる。生徒の居場所づくりを進めていきたい。また⑩の項目が若干下がっているのも気になる。この項目はぜひとも100%を目指したい。

② 基本的生活習慣の確立

アンケート⑬は72%から64%と低くなっている。学校での行事や部活動の世代交代、慣れなどが生活習慣の変化をもたらしたのではないかと考える。またパソコンやスマートフォン、携帯電話の使用頻度が高くなっていないかとも心配される。生徒・保護者への啓発、保護者との連携が必要である。また⑮が前回同様90%生徒が「できている」と答えている。今後も取組を進めていきたい。

③ 学校の取組で、豊かな心を育てているか。

☆アンケート⑯では、前回80%を超えていたのが、今回は76%と若干さがってしまった。保護者からは、前回と同様に、約80%が肯定的な回答であった。今後も全国調査「難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか」「学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがありますか」が全国や京都府の平均から、約20ポイント下回る結果を捉え、日頃の学習や部活動、学級活動など、集団づくりの中でお互いに支え合い、刺激あいながら成長する取組を進め、仲間と協力してやり遂げる成就感を味あわせることで、自尊感情を高め、将来の自らの夢に向かって歩き続ける生徒の育成を目指したい。

「学校・家庭・地域との連携」 (アンケート番号⑲～㉒)

思春期の真っ只中である生徒にとって、⑱や⑲といったアンケートが低くなっていることが予想される。

① 開かれた学校づくり

アンケート㉒「地域交流」について、生徒の意識は前回同様低い値となった。しかし、保護者の回答を見ると、前回が70%であったのに対し、今回は82%と伸びている。幾分かは学校に対する壁が低くなったのではないかと考えている。

② 子どもの良いところを見つけ、ほめること

アンケート⑱「先生に相談」⑳「ほめられる(ほめる)」㉑「保護者来校」については前回と同様に生徒と大人の差が大きい。家庭・学校が協力し、子どもとていねいに接すること、子どもたちのことを認め、ほめることで、子どもたちの自信へつなげることができるよう、はたらきかけていくことが大切である。